

社会科学習指導案

日 時 平成25年10月10日(木) 5校時
学 級 3年4組(男子15名 女子18名 計33名)
場 所 矢巾町立矢巾北中学校 3年4組教室
授業者 大川 憲一

1 単元名 第3章 現代の民主政治と社会 3節 地方の政治と自治

※ 東京書籍 「新しい社会 公民」

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領の内容(3)「私たちと政治」イ「民主政治と政治参加」中の「地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際、地方公共団体の政治の仕組みについて理解させるとともに、住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識を育てる。」に基づき、構成されたものである。主に都道府県や市町村の活動を対象としており、生徒にとって身近な学習課題を見いだすことができる単元である。

本校の位置する矢巾町は、古くから水田単作地帯として発達してきたが、隣接する盛岡市の都市機能の拡張に伴い、「北東北の流通拠点」、「盛岡市のベッドタウン」としての性格が強まってきた。さらに近年では駅周辺の土地区画整備事業が進み、大型ショッピングセンターの開店、岩手医科大学と附属病院の移転などさらなる開発も進んでいる。一方で今年8月9日の豪雨では大きな被害を受け、今までさほどに問題とされてこなかった災害対策においても町への期待は高まることとなった。

昔ながらの田園風景が大きく姿を変えていく中、今後の町づくりについての調査活動や話し合いなどの言語活動を通して地方自治のしくみや役割、地域住民の願いを実現していく方法を学び、進んで地方自治に関わっていくことの大切さを理解させたい。

(2) 生徒観

地方自治について、生徒は小学校3・4年生で身近な市区町村の特色やはたらき(ライフラインの確保・廃棄物処理・災害対策など)を、また中学校では歴史的分野で地方の統治の変遷について学習しているが、それらについての興味・関心や定着について、テストを行った。

(ゴシック体は正解。数字は答えた生徒)

① 次のうち、矢巾町が行っている仕事をすべて選びなさい。

(上・下水道の整備	ゴミ処理	警察	消防	裁判	教育)
100%	94%	61%	82%	3%	94%

② 岩手県知事の名前を書きなさい。(名字だけでも良い) **達増拓也** 52%

③ 廃藩置県で県が設置されたことによってどんなことが変わりましたか。空らんに適する語を書きなさい。

「中央から県令(知事)が派遣され、(**中央集権**)体制が確立された。」6%

④ 戦後、地方自治法によって知事や市町村長はどのようにして選ぶことになりましたか。書きなさい。

選挙 82%

また中学校での教研式標準学力検査（CRT）による結果（観点別正答率）は以下の通りである。

観 点	矢巾北中3年4組	全国
社会的事象への関心・意欲・態度	68.7%	69.9%
社会的な思考・判断・表現	52.6%	46.6%
資料活用の技能	70.1%	65.7%
社会事象についての知識・理解	70.3%	63.1%

授業にはほとんどの生徒が真面目に取り組み、一問一答的な問いについては積極的に発言に取り組む生徒も多い。しかしその一方、標準学力検査の結果によれば社会的事象への関心・意欲・態度が唯一全国平均より低く、事前テストの結果からも県知事の名前を知っている生徒が半数にとどまるなど、身近な社会情勢に関する興味・関心も薄い。

また、複数の社会的事象や資料をもとに思考・判断する力や、それを表現する力には個人差がある。それらのベースとなる言語能力の育成のため、グループでの話し合い学習や、授業のまとめを各々文章でまとめる活動も取り入れているが、まだまだ定着には到らない。継続的にそれらの活動の充実を図らなければならない。

(3) 指導観

本単元の指導にあたり、地方自治のしくみや役割を言葉で理解するほかに、身近な地方公共団体である矢巾町の取り組みについては、個人でインターネットを使って調べたことを文章にまとめる作業を通して興味・関心及び資料活用の能力を高めたい。

また、同じく矢巾町の取り組みについて、事象を単純化し、生徒が興味を持って自由に話し合いに参加できるようシミュレーションを取り入れることによって、本校の研究主題でもある言語活動による思考力・判断力・表現力の育成を図る他、これから地方自治を担っていく住民の一員であるという自覚を深めさせたい。

3 単元の指導目標

- (1) 地方自治の基本的な考え方や地方公共団体の政治のしくみについて理解する。
- (2) 身近な地方公共団体の取り組みについて、調査活動や話し合い活動を通して、住民の関わり方について考えを深め、地域社会の発展に寄与しようとする住民としての意識を育てる。

4 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会事象についての知識・理解
・身近な地方公共団体の政治について進んで調べたり、地域住民の一人としてそのあり方を考えたりしている。	・身近な地方公共団体の特色や課題について調べ、課題解決に向けての方策について話し合い、討論での発言などの形で表現している。	・地域の課題や地方財政の変化について、資料を収集・選択し、複数の資料を比較して読み取ることができる。	・住民自治を基本とする地方自治の考え方に基づいて、住民の権利や役割、地方自治の仕組みの内容を理解している。

5. 単元の指導計画並びに評価（5時間）

学習の内容と指導目標	観 点				評 価 規 準
	関	思	技	知	
1 わたしたちと地方自治 (1/5)	○				地方の政治に関心を持ち、自らも住民の一人として住民自治を担う存在であることに気づいている。
				◎	地方公共団体の仕事を理解するとともに、地方分権の考え方について理解している。
2 地方自治の制度 (2/5)				◎	地方自治のしくみを地方議会と首長の役割を中心に理解している。
		○			なぜ直接請求権が認められているのかについて、国民主権や住民自治の観点から考えている。
3 地方財政 (3/5)			○		統計資料から、地方財政の歳入や歳出を読み取っている。
		◎			地方財政の課題と将来の在り方について考え、その過程や結果を適切に表現している。
4 住民参加の拡大 (4/5) (5/5)本時				○	住民の政治参加の方法について、そのあらましを理解している。
	◎				町の課題をふまえ、課題解決や将来の展望について自分の考えをまとめ、発表している。

6 本時の指導

(1) 本時の目標

矢巾町のまちづくりの事例を通し、自分が今後どのように地域社会や政治に関わっていくかを考え、将来の主権者としての意識を持つ。

(2) 「思考力・判断力・表現力等」を育てるための言語活動の充実のポイント

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 情報を分析・評価し、論述する。(④) 2 互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。(⑥) |
|--|

(3) 指導過程

	学 習 活 動	指導上の留意点 「 」は予想される反応	◇教具/◆評価															
導入 5分	1 学習課題の設定																	
	<p>言語活動④：情報を分析・評価し、論述する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真と新聞記事から矢巾中の跡地の活用が問題になっていることを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 自由に発言させた上で、矢巾中跡地が町有地であり、その利用は多くの町民の声に応えるものである必要を確認する。 	◇矢巾中跡地の写真・新聞記事															
展開 35分	<p>矢巾中学校の跡地をどのように活用すればいいだろうか</p> <p>2 自分の考えを持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> 矢巾中跡地の活用法について、自分の意見を学習シートに記入する。 発表する。 <p>3 学習課題の追求</p> <p>言語活動④：情報を分析・評価し、論述する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒から出された活用法に「ゴミ処理施設」(D)を加えた中から1つ選び、それを指示する理由をまとめる。 <p>言語活動⑥：互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習シートにまとめた意見をグループ内で発表し合う。 互いの意見の利点・問題点についてグループ内で交流し合う。(個→グループ) グループでの話し合いの結果を発表する。(グループ→全体) <ul style="list-style-type: none"> 住民の声が政治に反映されるまでの流れを全体で確認する。 	<p>「公園・運動場」(A)</p> <p>「大型ショッピングセンター」(B)</p> <p>「学校」(C)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の主観だけでなく、客観的データに裏付けられた主張になるよう助言する。 <p>予想される利点・問題点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利 点</th> <th>問題点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>交流の場 健康増進 避難所 大会誘致</td> <td>財政の向上には効果が薄い</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>買い物が便利 雇用の確保 税収増</td> <td>騒音・渋滞など環境の悪化が心配</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>若者が集まり、まちが活性化する</td> <td>特定の企業に町の土地を利用させるのはどうか</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>処理能力が上がり環境への影響が少なくなる</td> <td>町の中心部であり、においなどの環境被害も</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 「住民」「選挙」「首長」「議会」「請願」「直接請求」「住民運動」「予算」「条例」「税」「情報公開」などのキーワードを使って図にまとめる。 		利 点	問題点	A	交流の場 健康増進 避難所 大会誘致	財政の向上には効果が薄い	B	買い物が便利 雇用の確保 税収増	騒音・渋滞など環境の悪化が心配	C	若者が集まり、まちが活性化する	特定の企業に町の土地を利用させるのはどうか	D	処理能力が上がり環境への影響が少なくなる	町の中心部であり、においなどの環境被害も	<p>◇学習シート</p> <p>◇矢巾町の基本データ(町勢要覧)、町民アンケート</p> <p>◆学習シートに自分の意見をまとめることができたか(学習シート)</p> <p>◆グループで意欲的に意見交流に取り組んでいるか(観察)</p>
		利 点	問題点															
	A	交流の場 健康増進 避難所 大会誘致	財政の向上には効果が薄い															
	B	買い物が便利 雇用の確保 税収増	騒音・渋滞など環境の悪化が心配															
C	若者が集まり、まちが活性化する	特定の企業に町の土地を利用させるのはどうか																
D	処理能力が上がり環境への影響が少なくなる	町の中心部であり、においなどの環境被害も																
終末 10分	4 まとめ	<p>まとめの例</p> <p>私たちの要望は地方議会や首長に働きかけて実現することがわかった。自分も将来有権者になったら、広報や新聞などの情報をもとに自分の意見をしっかりと持ち、選挙や住民運動に積極的に参加していきたい。</p>	◆自分の意見をキーワードを使ってまとめられたか。(学習シート)															
	5 授業評価と次時の確認																	